

7-1 高齢者のいる世帯の状況

高齢者のいる世帯は2089万世帯、普通世帯の39.9%

65歳以上の世帯員（以下「高齢者」という。）のいる普通世帯は2089万世帯で、普通世帯全体（5230万世帯）の39.9%となっている。平成20年（1824万世帯）と比べると、265万世帯（14.5%）増加し、普通世帯全体の増加率（5.0%）の約3倍となっている。高齢者のいる普通世帯の割合の推移をみると、平成5年が28.8%、10年が31.5%と3割を超え、15年が34.9%と3分の1を上回り、平成25年は全体の約4割に上昇している。

<表7-1>

表7-1 世帯の型別普通世帯数及び主世帯数—全国（昭和58年～平成25年）

年次	普通世帯総数	うち高齢者(65歳以上)のいる普通世帯					うち75歳以上の世帯員がいる普通世帯	主世帯総数	うち高齢者(65歳以上)のいる主世帯					うち75歳以上の世帯員がいる主世帯
		総数	高齢単身世帯	高齢者のいる夫婦普通世帯	高齢者のいるその他の普通世帯	高単身世帯			高単身世帯	高齢者のいる夫婦主世帯	高齢者のいるその他の主世帯			
実数 (1000世帯)														
昭和 58年	34,907	8,709	986	1,468	6,255	-	34,705	8,659	983	1,450	6,227	-		
63年	37,563	9,943	1,348	1,920	6,674	4,392	37,413	9,905	1,346	1,905	6,655	4,375		
平成 5年	40,934	11,806	1,822	2,628	7,357	5,277	40,773	11,764	1,818	2,608	7,338	5,259		
10年	44,134	13,904	2,429	3,535	7,940	6,327	43,922	13,857	2,425	3,508	7,924	6,305		
15年	47,083	16,455	3,383	4,471	8,602	-	46,863	16,411	3,381	4,440	8,590	7,960		
20年	49,804	18,242	4,139	5,141	8,962	-	49,598	18,198	4,138	5,112	8,948	9,329		
25年	52,298	20,890	5,519	5,875	9,496	-	52,102	20,844	5,517	5,847	9,479	10,996		
割合 (%)														
昭和 58年	100.0	24.9	2.8	4.2	17.9	-	100.0	25.0	2.8	4.2	17.9	-		
63年	100.0	26.5	3.6	5.1	17.8	11.7	100.0	26.5	3.6	5.1	17.8	11.7		
平成 5年	100.0	28.8	4.5	6.4	18.0	12.9	100.0	28.9	4.5	6.4	18.0	12.9		
10年	100.0	31.5	5.5	8.0	18.0	14.3	100.0	31.5	5.5	8.0	18.0	14.4		
15年	100.0	34.9	7.2	9.5	18.3	-	100.0	35.0	7.2	9.5	18.3	17.0		
20年	100.0	36.6	8.3	10.3	18.0	-	100.0	36.7	8.3	10.3	18.0	18.8		
25年	100.0	39.9	10.6	11.2	18.2	-	100.0	40.0	10.6	11.2	18.2	21.1		
増減数 (1000世帯)														
昭和58年～63年	2,656	1,234	362	452	420	-	2,709	1,246	363	456	428	-		
63年～平成5年	3,372	1,864	474	707	682	886	3,360	1,859	472	703	684	884		
5年～10年	3,200	2,098	607	907	584	1,049	3,149	2,093	607	900	586	1,046		
10年～15年	2,949	2,551	954	936	661	-	2,941	2,554	956	932	666	1,655		
15年～20年	2,722	1,787	757	670	360	-	2,735	1,786	757	671	358	1,369		
20年～25年	2,494	2,648	1,380	734	534	-	2,504	2,646	1,380	736	531	1,667		
増減率 (%)														
昭和58年～63年	7.6	14.2	36.7	30.8	6.7	-	7.8	14.4	36.9	31.4	6.9	-		
63年～平成5年	9.0	18.7	35.2	36.8	10.2	20.2	9.0	18.8	35.1	36.9	10.3	20.2		
5年～10年	7.8	17.8	33.3	34.5	7.9	19.9	7.7	17.8	33.4	34.5	8.0	19.9		
10年～15年	6.7	18.3	39.3	26.5	8.3	-	6.7	18.4	39.4	26.6	8.4	26.2		
15年～20年	5.8	10.9	22.4	15.0	4.2	-	5.8	10.9	22.4	15.1	4.2	17.2		
20年～25年	5.0	14.5	33.3	14.3	6.0	-	5.0	14.5	33.3	14.4	5.9	17.9		

(注) 高齢者のいる世帯……65歳以上の世帯員のいる世帯

「高齢単身世帯」……65歳以上の単身者のみの世帯

「高齢者のいる夫婦世帯」……夫婦とも又はいずれか一方が65歳以上の夫婦一組のみの世帯

「高齢者のいるその他の世帯」……高齢者のいる世帯から上記の二つを除いたもの

(高齢者と生計を共にするその他の世帯員で構成される世帯)

高齢者のいる普通世帯を世帯の型別にみると、「高齢単身普通世帯」が 552 万世帯、「高齢者のいる夫婦普通世帯」が 588 万世帯、「高齢者のいるその他の普通世帯」が 950 万世帯となっている。

平成 20 年と比べると、「高齢単身普通世帯」が 33.3%増、「高齢者のいる夫婦普通世帯」が 14.3%増、「高齢者のいるその他の普通世帯」が 6.0%増となっており、「高齢単身普通世帯」の増加率が高くなっている。

<表 7-1>

「高齢単身主世帯」の割合は上昇

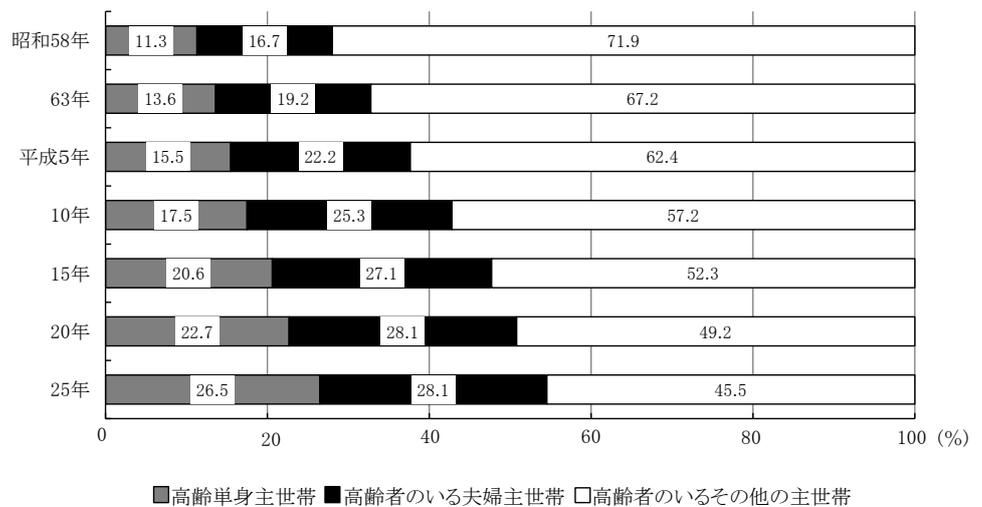
高齢者のいる主世帯は 2084 万世帯で、主世帯全体の 40.0%となっている。

世帯の型別にみると、「高齢単身主世帯」が 552 万世帯で、高齢者のいる主世帯全体の 26.5%、「高齢者のいる夫婦主世帯」が 585 万世帯（28.1%）となっており、平成 20 年と比

べると、「高齢単身主世帯」が 3.8 ポイント上昇し、「高齢者のいる夫婦主世帯」は横ばいとなっている。高齢者のいる主世帯の世帯別割合の推移をみると、「高齢単身主世帯」が上昇を続けている。

<表 7-1, 図 7-1>

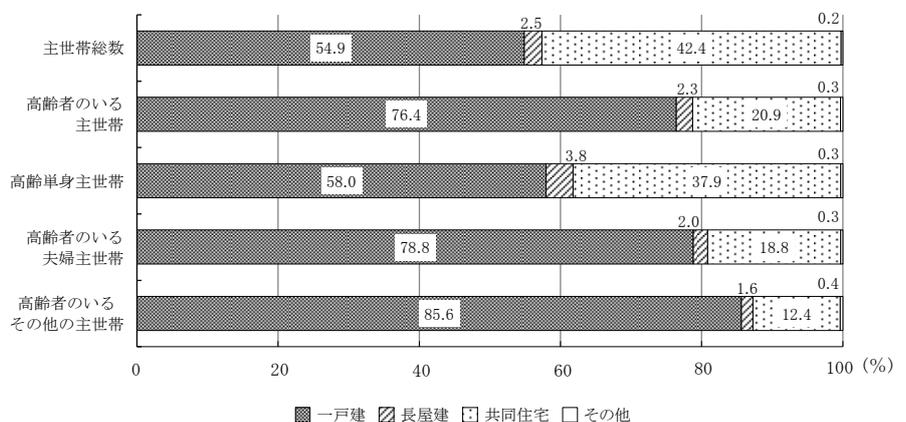
図7-1 高齢者のいる主世帯の世帯の型別割合の推移—全国（昭和58年～平成25年）



高齢者のいる主世帯は一戸建に居住する割合が高い

高齢者のいる主世帯について、建て方別割合をみると、一戸建が 76.4%、長屋建が 2.3%、共同住宅が 20.9%などとなっており、主世帯全体（それぞれ 54.9%、2.5%、42.4%）と比べると、一戸建の割合が高く、共同住宅の割合が低くなっている。

図7-2 主世帯の世帯の型、建て方別割合—全国（平成25年）



これを世帯の型別にみると、「高齢単身主世帯」は一戸建が 58.0%、長屋建が 3.8%、共同住宅

が 37.9%、「高齢者のいる夫婦主世帯」はそれぞれ 78.8%、2.0%、18.8%、「高齢者のいるその他の主世帯」はそれぞれ 85.6%、1.6%、12.4%となっており、「高齢単身主世帯」は他の世帯の型に比べ、一戸建の割合が低く、共同住宅の割合が高くなっている。 <図 7-2>

高齢者のいる主世帯が居住する共同住宅の2割が高齢者対応型

表7-2 世帯の型別共同住宅数及び高齢者対応型共同住宅数－全国(平成25年)

高齢者のいる主世帯が居住する共同住宅 437 万戸のうち「高齢者対応型共同住宅」は 103 万戸 (23.5%) で、共同住宅全体 2209 万戸のうち「高齢者対応型共同住宅」は 381 万戸 (17.2%) となっ

世帯の型	共同住宅数 (1000戸)	高齢者対応型共同住宅	
		総数 (1000戸)	割合 (%)
主世帯	22,085	3,809	17.2
高齢者のいる主世帯	4,366	1,027	23.5
高齢単身主世帯	2,093	467	22.3
高齢者のいる夫婦主世帯	1,102	283	25.7
高齢者のいるその他の主世帯	1,171	277	23.7

おり、「高齢者対応型共同住宅」の割合は、高齢者のいる主世帯が主世帯全体に比べ高くなっている。

これを世帯の型別にみると、「高齢単身主世帯」が居住する高齢者対応型共同住宅は 22.3%、「高齢者のいる夫婦主世帯」が居住する高齢者対応型共同住宅は 25.7%、「高齢者のいるその他の主世帯」が居住する高齢者対応型共同住宅は 23.7%となっており、全ての世帯の型で2割強となっている。 <表 7-2>

高齢者のいる主世帯は持ち家の割合が高い

高齢者のいる主世帯について、所有の関係別割合をみると、持ち家が 82.7%、民営借家(木造)が 5.4%、民営借家(非木造)が 5.3%となっており、主世帯全体(それぞれ 61.7%、8.4%、19.6%)に比べ持ち家が 21.0 ポイント高くなっている。

これを世帯の型別にみると、「高齢単身主世帯」は持ち家が 65.6%、民営借家(木造)が 10.3%、公営の借家が 8.7%、「高齢者のいる夫婦主世帯」はそれぞれ 87.2%、3.8%、3.8%、「高齢者のいるその他の主世帯」はそれぞれ 90.0%、3.5%、2.4%となっており、いずれの型も持ち家が主世帯全体に比べ高くなっている。このほか、「高齢単身主世帯」は民営借家(木造)、公営の借家及び都市再生機構(UK)・公社の借家の割合が、主世帯全体に比べ高くなっている。 <表 7-3>

表7-3 世帯の型，住宅の所有の関係別主世帯数－全国（平成25年）

世帯の型	総数 1)	持ち家	借家					給与住宅
			総数	公営の借家	都市再生機構(UK)・ 公社の借家	民営借家		
						木造	非木造	
実数 (1000世帯)								
主世帯総数	52,102	32,166	18,519	1,959	856	4,383	10,199	1,122
高齢者のいる主世帯	20,844	17,247	3,561	929	356	1,123	1,106	47
高齢単身主世帯	5,517	3,622	1,874	480	171	567	643	13
高齢者のいる夫婦主世帯	5,847	5,097	746	225	95	224	189	13
高齢者のいるその他の主世帯	9,479	8,528	942	225	90	333	274	21
割合 (%)								
主世帯総数	100.0	61.7	35.5	3.8	1.6	8.4	19.6	2.2
高齢者のいる主世帯	100.0	82.7	17.1	4.5	1.7	5.4	5.3	0.2
高齢単身主世帯	100.0	65.6	34.0	8.7	3.1	10.3	11.7	0.2
高齢者のいる夫婦主世帯	100.0	87.2	12.8	3.8	1.6	3.8	3.2	0.2
高齢者のいるその他の主世帯	100.0	90.0	9.9	2.4	0.9	3.5	2.9	0.2

1) 住宅の所有の関係「不詳」を含む。